3. 受験(一般選抜のみ)

試験当日に持参するものや試験会場での注意事項、受験上の注意など内容をよく確認してください。一般選抜を受験する場合は、試験当日も確認できるように、「3. 受験(一般選抜のみ)」を必要に応じて印刷の上、持参をしてください。

3-1. 受験票

試験当日入場の際、受験票の提示が必要になりますので、試験当日に必ず持参してください。

受験票は郵送されません。一般選抜を受験する場合、Web出願サイトのマイページから照会・印刷可能となります。(20 頁参照)

- ① 受験票に記載されている試験場や集合着席時刻などを必ず確認してください。
- ② 受験票を志願者本人以外が使用した場合または受験票に何らかの書き込みがされている場合は不正行為となります。
- ③ 以下にあてはまる場合、試験場への入場を認めませんので、受験票の再発行(仮受験票の交付)を受けてください。再発行には、時間を要しますので、試験場入口付近の係員に早めに申し出てください。
 - a. 受験票を印刷していない。(スマートフォン等端末上で受験票のデータを表示された場合も入場を認めません)
 - b. 試験当日に受験票を忘れた、または紛失した
 - c. 白紙以外の紙に印刷している。所定のサイズ(A4)以外で印刷している
 - d. 印字内容が不鮮明である
 - e. 試験場・試験日・入試年度が異なる

3-2. 試験会場

(1) 試験会場

- ① 試験会場は、受験票にも記載されていますので、間違えないよう注意してください。なお、試験会場の場所は、35 頁「7. 試験会場案内図(一般選抜のみ)」で確認してください。
- ② 受験票に記載された試験会場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
- ③ 試験場内の下見はできません。なお、札幌会場に限り試験前日までに試験場内案内図を受験生Webで公開します。
- ④ 試験会場(敷地内)は、禁煙です。
- ⑤ <u>事前の申請手続をするなど本学に認められた場合を除き、試験当日の体調不良やその他の理由による別室での受験はできません。</u>

(2)交通機関

- ① 試験当日は交通機関が混雑しますので、試験会場には早めに到着するよう心掛けてください。各試験場周辺の道路は、混雑のため交通規制されることがあります。近隣にお住まいの方の迷惑や、交通の妨げとなりますので、<u>タクシーの利用や、自家</u>用車での送迎は避けてください。
- ② 試験室によっては、試験終了から試験室退場まで時間を要する場合があります。また、試験場から最寄駅までの道のりは大変混雑しますので、当日中に遠方へ帰る方で、事前に交通機関の手配をされる場合は、時間に十分な余裕を持ってください。
- 気象状況や事故等で公共交通機関に大幅な乱れ・遅れが生じ、試験当日、多くの受験生に影響があると本学が判断 した場合、試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- こうした不測の事態による変更や試験実施に関する対応、追加の連絡が生じた場合には、本学受験生サイト「受験生 Web」でお知らせします。試験当日も必ず確認するようにしてください。
- お知らせの見落としなど、受験者の個人的損害について本学は一切の責任を負いませんので注意してください。

【受験生Web】▶https://entry.hokusei.ac.jp/



(3) 入場

- ① 試験会場の開門時刻は9時00分です。控室はありませんので、開門時間に合わせて来場してください。
- ② 試験室の案内は、試験当日、試験場内に掲示します。
 - ※ 札幌会場に限り試験前日までに、試験場内案内図を受験生Webで公開します。
- ③ 当日は受験票を必ず持参し、試験会場に入場の際、提示してください。受験者本人以外の入場は認めません。
 - ※ 受験票を忘れた場合は、受験票の再発行(仮受験票の交付)を受けてください。なお、このことに伴う試験時間の延長などの措置は行いません。
- ④ 集合着席時刻には、注意事項の説明、問題冊子・解答シート等の配付を行いますので、必ず指定の座席に着席してください。
 - ※ 座席は、受験番号によって指定されています。必ず自分の受験番号の座席に着席してください。
 - ※ 公共交通機関の遅延による遅刻の場合、駅などの窓口で「遅延証明書」を受け取ってください。
- ⑤ 受験者以外は試験場(試験が実施されている建物)には入れません。試験場内での忘れ物等の受け渡しもできません。
- ⑥ 試験場内では静粛にし、試験監督者、係員の指示に従ってください。
- ⑦ 試験室には時計がありませんので、時計は各自で持参してください。また、時計の貸し出しは行いません。なお、使用できる時計については、26頁「3-3. 受験上の注意」を参照してください。
- ⑧ 試験場には、コインロッカーやクロークはありませんので、トランクやスーツケース等の大きな荷物は、駅等のコインロッカーを利用してください。試験場内ではお預りできません。
- ⑨ 上履きを持参する必要はありません。
- ⑩ 試験場や最寄駅等の周辺で、チラシ等の配布や勧誘等を行っている場合がありますが、本学とは一切関係ありません。これらの行為に応じたことに伴う事故やトラブルに関して、本学は一切の責任を負いません。
- ① 貴重品は各自の責任において管理してください。紛失や盗難について、本学では一切の責任を負いません。

(4) 遅刻

- ① 試験開始後でも入室することができます(入室限度時刻はありません)が、その分の試験時間の延長はありません。別室等での受験もできません。
- ② 公共交通機関の遅れが生じた場合は、可能な限り駅で「遅延証明書」を発行してもらい、「公共交通機関の遅れにより遅刻した」ことを、必ず試験会場入口の係員に申し出てください。申し出がない場合は、試験時間繰り下げ等の対応ができない場合があります。
- ③ 気象状況や事故等で公共交通機関に大幅な乱れ・遅れが生じ、試験当日、多くの受験生に影響があると本学が判断した場合、 試験実施に支障をきたさない範囲で全体の試験開始時刻を繰り下げることがあります。連絡が生じた場合には、本学受験生 サイト「受験生Web」でお知らせします。

(5) 昼食

- ① 昼食は各自で用意し、自席または本学が指示する場所でとってください。学生食堂は利用できません。また、ゴミは各自で持ち帰ってください。
- ② 試験当日は、監督者など係員が指示する場合を除き、試験が終了するまで試験場から出ることはできません。

(6) 退室 · 退場

- ① いかなる場合も解答シート等、指示されたもの以外は持ち帰ることができません。
- ② 試験終了時刻より前に解答シート等が完成した場合でも、試験時間終了後、解答シート等の回収・確認作業が完了し監督者の 指示があるまで退室できません。
- ③ 混雑緩和のための時間差退場を行う場合があります。なお、試験終了後は試験場内に留まることはできませんので、係員の 指示に従って速やかに退場してください。
- ④ <u>試験室、試験場の外にやむを得ず出る必要がある場合には、必ず受験票を携行してください。試験場の外に出て試験時間に</u> 遅れた場合は受験者自身の責任になりますので、注意してください。

試験当日の問い合わせ先

北星学園大学·北星学園大学短期大学部 入試課 TEL:011-891-2731(代表)

※ 札幌会場以外で受験する場合であっても、受験する試験会場ではなく、上記に電話連絡をしてください。

3-3. 受験上の注意

(1) 試験時間中に使用できるもの

使用できる物品	備考
鉛筆	黒(「HB」または「F」)とし、鉛筆キャップの装用を認めます。
シャープペンシル	黒(「HB」または「F」)とし、替芯とそのケースの使用を認めます。
プラスチック製消しゴム	カバー(もともと付いているものに限る)の装用を認めます。
鉛筆削り	電動式・大型のもの・ナイフ類を除き、受験者の迷惑にならない範囲で使用を認めます。
眼鏡	写真照合の際にいったん外していただくことがあります。
時計	・ 秒針音のするものは周囲の受験者の迷惑となる可能性があるため、使用を認めません。(手の平
	サイズを超えるものを含む)
	・ 辞書・電卓等、時計以外の機能のあるものは、使用を認めません。(同機能の有無が判別しにくい
	ものを含む)
	・ 通信機能のあるものは、それが電波を発しない状態であっても使用を認めません。(同機能の有
	無が判別しにくいものを含む)
	・ スマートフォン等を時計として使用することは認めません。
	・試験時間中に時計のアラーム音等が鳴った場合、不正行為となることがあります。
	・時計の貸し出しは行いません。
ハンカチ	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
ティッシュペーパー、目薬	袋または箱から中身だけ取り出したものとします。

- ※ 試験時間中に使用できる物品は上記のとおりです。ただし、<u>「試験時間中に使用できる物品」を使用している場合でも、不正行為</u> 防止のため、必要に応じて監督者が確認する場合がありますので、監督者の指示に従ってください。
- ※ 解答用紙がマークシートの場合には、「HB」の黒色鉛筆とプラスチック製消しゴムを使用してください。<u>解答のマーク部分をシャープペンシルで記入しても構いませんが、マークが薄い場合や一部しかマークしていない場合、訂正箇所を消しゴムできれいに消していない(消し跡が残っている)場合は、解答が正しく読み取れないことがあります。また、解答科目がマークされていない場合や複数の科目にマークされている場合など解答科目が特定できないときも同様ですので、注意してください。</u>

(2) 試験時間中に使用を認めないものの例

使用できない物品	備考
電子通信機器	スマートフォン、携帯電話、タブレット端末、ウェアラブル端末等
	※時計としての使用も認めません。必ず、電源を切ってかばんの中にしまってください。
音を発するもの	携帯電話、携帯音楽プレーヤー等
時計やストップウォッチのア	これらの機能は試験前に必ず解除してください。
ラーム機能や時報機能	
定規	定規の機能を備えた鉛筆等を含みます。
コンパス	
翻訳機、電子辞書、電卓	そろばんを含みます。
右に記載するペンや鉛筆等	ボールペン、赤ペン、色鉛筆、万年筆、色マーカーペン(蛍光ペン等)
付箋	
ペンケース	
耳せん	監督者の指示が聞こえない可能性があるので使用を認めません。
飲食物	飴、ガム、ペットボトル飲料等を含みます。
手指用消毒液等の除菌用品	試験中は必ずかばんの中にしまってください。

- ※ 上記の使用できない物品以外でも、他の受験者の迷惑になる可能性や試験の円滑な実施に支障をきたす、または不正行為につながると監督者が判断した場合、試験室において監督者が確認し、使用を認めない場合があります。
- ※ 電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。
- ※ 座布団やひざ掛けを使用することができますが、文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。

(3) 試験時間中の注意事項

- ① 試験時間中は、必ず監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合、退室・退場させる場合があります。この場合、入学検定料の返還や追試験等の措置は行いません。
- ② 受験票については、受験番号の記載面を上にした状態で、自席に置いてください。受験票に何らかの書き込みがされている場合は不正行為となります。
- ③ 試験時間中に携帯電話や時計等の音・振動等が発生し、発生源のかばんが特定できた場合、所有者の同意なく、監督者が試験室外に持ち出し、試験場本部等で当該試験時間終了まで保管します。
- ④ 試験時間中、監督者が試験室内の巡視を行います。その際、監督者が顔を上げるよう指示することや、マスクや眼鏡、帽子等を一時的に外すよう指示することなどがあります。また、不正行為に見えるような行為は、監督者が注意する場合があります。
- ⑤ 集合着席時刻から監督者が試験終了の案内を行うまで、試験室からの退室はできません。トイレ等やむを得ない場合には、挙 手のうえ監督者の指示に従ってください。
- ⑥ 試験時間中、体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合は、手を挙げて、監督者に申し出てください。容態により、本学が別に用意した場所がある場合には、同場所での休憩は認めますが、その分の試験時間の延長はありません。別室等での受験もできません。なお、大学内や各試験会場での診療は行いません。
- ⑦ 試験時間中の日常的な生活騒音(監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音、スマートフォンや時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)に対して、座席の移動や、試験時間の延長などの救済措置は行いません。
- ⑧ 試験室内は外気温等に合わせ適宜室温調整を行っていますが、寒暑の感覚には個人差があることから、なるべく温度調節の可能な服装を心掛けてください。
- ⑨ 解答シート等を折り曲げたり、汚したりしないでください。
- ⑩ 本学が指示する解答方法に従わなかった場合、採点が正常にできない場合があります。解答の際には十分注意してください。
- ① 解答シート等の受験番号や氏名の未記入・誤記入がある場合、当該教科の解答が無効になる場合があります。

(4) 不正行為

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるように万全の体制を整えています。

以下に例示した行為をすると、不正行為となることがあります。不正行為の疑いがある場合、監督者、係員が注意もしくは事情を 聴取することがあります。その際に要した試験時間の延長はできません。これらに応じない場合、不正行為を自認したものとみな す場合があります。また、不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、受験した全ての教科・科目の成績を無効 とするとともに、入学検定料も返還しません。不正行為者の保護者および在籍(出身)高校に対し報告する場合もあります。

- 試験時間中に、使用を認められていない物品を使用すること(机上に置くこと、身に着けることを含む)。
- 試験開始の合図、もしくは監督者の試験開始の指示の前に問題冊子を開き、解答を始めること。
- 試験時間中に、カンニングをすること(カンニングペーパー、参考書、他の受験生の答案を見ること等)。
- 試験時間中に、答えを教える等他の受験者を利するような行為をすること。
- 試験時間中に、スマートフォン・携帯音楽プレーヤー・ウェアラブル端末等を身につけていること。
- 試験時間中に、スマートフォン・携帯音楽プレーヤー・ウェアラブル端末等を鳴らすこと。
- 試験終了の合図、もしくは監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたり すること。
- 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- 試験場において監督員や係員の指示に従わないこと。
- 志願者以外の者が志願者本人になりすまして試験を受けること。
- 解答シート等を持ち帰ること。
- 試験会場内において、備品、施設、設備等を故意に汚したり、傷つけたりすること。
- その他、試験の公平性を損なう行為をすること。